

## B. 全体的な、または展開された価値形態(p84/原P77)

$z$ 量の商品A =  $u$ 量の商品B または =  $v$ 量の商品C または =  $w$ 量の商品D

または =  $x$ 量の商品E または = etc.

(20エレのリンネル = 1着の上着 または = 10ポンドの茶 または = 40ポンドのコーヒー

または = 1ワオーターの小麦 または = 2オンスの黄金 または = 1/2トンの鉄

または = その他)

### 1. 展開された相対的価値形態 Die entfaltete relative Wertform

(1) ある一の商品、例えば、リンネルの価値は、いまでは商品世界の無数の他の要素で表現される。他の商品体はどれでもリンネル価値の鏡になる。こうして、この価値そのものが、はじめて本当に、無差別な人間労働の凝固として現れる。なぜならば、このリンネル価値を形作る労働は、今や明瞭に、他のどの人間労働でもそれに等しいとされる労働として表されているからである。即ち、他のどの人間労働も、それがどんな現物形態をもつていいようと、従って、それが上着や小麦や鉄や金などのどれに対象化されていようと、すべてこの労働に等しいとされているからである。それゆえ、今ではリンネルは、その価値形態によって、ただ1つの他の商品種類に対してだけではなく、商品世界に対して社会的な関係に立つのである。商品としてリンネルは、この世界の市民である。同時に商品価値の諸表現の無限の列のうちに、商品価値はそれが現れる使用価値の特殊な形態には無関係だということが示されているのである。(注23p85)

(注23) それゆえ、リンネルの価値を上着で表す場合にはリンネルの上着価値といい、穀物で表す場合には、リンネルの穀物価値と言ったりするのである。

(2) 第一の形態、20エレのリンネル = 1着の上着 では、これらの二つの商品が一定の量的な割合で交換されうるということは、偶然的事実でありうる。これに反して、第二の形態では、偶然的現象とは本質的に違っていて、それを規定している背景が、すぐに現れてくる。リンネルの価値は、上着やコーヒーや鉄など無数の違った所持者のものである無数の違った商品のどれで表されようと、つねに同じ大きさのものである。2人の個人的商品所持者の偶然的な関係はなくなる。交換が商品の価値量を規制するのではなく、逆に商品の価値量が商品の交換割合を規制するのだ、ということが明らかになる。(p86)

### 2. 特殊的等価形態(p86)

(1) 上着や茶や、小麦、鉄、などの商品はどれもリンネルの価値表現では等価物として、従ってまた価値体として、認められている。これらの商品のそれぞれの特定の現物形態は、今では、他の多くのものと並んで一つの特殊的等価形態である。同様に、いろいろな商品体に含まれている様々な特定の具体的な有用な労働種類も、いまでは、ちょうどその数だけの、人間労働そのものの特殊な実現形態として認められているのである。

### 3. 全体的な、または展開された価値形態の欠陥(p86)

(1) 第一に、商品の相対的価値表現は未完成である。というのは、その表示の列は完結することができないからである。こと等式の連鎖は、新たな商品種類が現れるごとに、いくらでも引き延ばされるからである。第二に、この連鎖はバラバラな雑多な価値表現の多彩な寄木細工をなしている。そして最後に、それぞれの商品の相対的価値が、この展開された価値で表現されるならば、どの商品の相対的価値形態

も、他のどの商品の相対的価値形態とも違った無限の価値表現列である。一展開された相対的価値形態の欠陥は、それに対応する等価形態にも反映する。ここでは各個の商品種類の現物形態が、無数の他の特殊的等価形態と並んで1つの特殊的等価形態なのだから、およそただそれぞれが互いに排除し合う制限された等価形態があるだけである。同様に、それぞれの特殊的商品等価物に含まれている特定の具体的な有用な労働種類も、ただ、人間労働の特殊的な、従って、尽きるところのない現象形態でしかない。人間労働は、その完全な、または全体的な現象形態を、たしかにあの特殊的現象形態の総範囲のうちにもってはいる。しかし、そこでは人間労働は統一的な現象形態をもってはいないのである。(p87)

(2)とはいえる、展開された相対的価値形態は、単純な相対的表現即ち、第一の形態の諸等式の総計から成っているにすぎない。たとえば、

20エレのリンネル = 1着の上着

20エレのリンネル = 10ポンドの茶 などの総計からである。

しかし、これらの等式は、それぞれ、逆にすればまた次のような同じ意味の等式を表す。

1着の上着 = 20エレのリンネル

10ポンドの茶 = 20エレのリンネル などを含んでいる。

(3) 実際に、ある人が彼のリンネルを他の多くの商品と交換し、従ってまたリンネルの価値を一連の他の商品で表現するならば、必然的に他の多くの商品所有者もまた彼らの商品をリンネルと交換しなければならず、従ってまた、彼らの様々な商品の価値を同じ第三の商品で、即ち、リンネルで表現しなければならない。—そこで、20エレのリンネル = 1着の上着 または = 10ポンドの茶、または=等々 という列を逆にすれば、即ち、事実上すでにこの列に含まれている逆関係を言い表してみれば、次のような形態が与えられる。(p88)